

留学先国名 : デンマーク

留学先学校名 : Royal Danish Academy of Fine Arts

(デンマーク王立芸術アカデミー)

留学期間 : 平成 28 年 2 月 10 日 ~ 平成 29 年 2 月 9 日

授業、学習について

多くの方々の御援助のもと、留学中の生活は大変充実したものとなりました。

留学中は、学校生活を中心に、多くの人との出会いから学び、また助けられる毎日でした。デンマークの学校での学習方法は日本の学校でのものと全く異なり、はじめは大変戸惑いました。

学校では家具のデザインを学んでいましたが、一年を通して通学し、先生方や友人たちと対話を重ね試行錯誤を続ける中で、課題に対するアプローチが全く違っているのだということが分かってきました。

デンマークの大学と比較して、日本では先生方と生徒との関係性がしっかりと整えられており、学生たちはある程度均一なサポートを受けられる一方で、学習のアプローチは学校側発信になりがちなのがあるように感じます。例えば作品制作においては、プレゼンテーションや指導の機会に主導権を持ち決定を下すのは教える側である場合が多く、教わる側も、教える側に答を求めてしまいがちかもしれません。

それに対して留学先では、学習の主導は常に学生自身にあるため、自分自身で学習の方針や計画を立て、自分にとって必要なサポートを自ら求める必要がありました。特に、デザインの学習というのは完全なる正解や不正解のない分野であるため、『最後に答を出すのは自分自身である』というところを何度も教わりました。もしかしたらうまくいかないかもしれないと思うようなことでも自分の納得がいくまでやってみることができですが、それは同時に自分自身がとにかく動いて打開策を見つけなければ何も起きないということでもあります。

学習方法や授業方針の違いについては、どちらの方が優れているということではありませんが、全く新しい方法を学んだことで、今後の制作活動においては複数の方向からアプローチができればよいと思います。

語学について

私は以前他の大学でデンマーク語を学んでいたため、当初は学校での授業を含め日常生活の全てでデンマーク語を使用する予定でした。しかし留学時の最初のプログラムが他の留学生を含めたグループ活動だったために、思いがけず英語でのコミュニケーションが必要になりました。英語でのミーティングや日常会話は大変久しぶりで、トレーニングはもちろん心の準備ができておらず苦労しましたが、毎日議論を重ねる中で英語とデンマーク語の切り替えも少しずつスムーズにできるようになりました。

その後の学校生活では英語を使用することはほとんどありませんでしたが、学校から他国の国際展示会

などへ研修で行く時や、学校外の友人たち、あるいは日本から友人や家族が訪ねて来た時のデンマーク人との共通語として、英語という言語ができることの強みや利点を実感し、その重要性を再確認しました。

しかしながら、現地の言葉が話せるということの利点も十分に感じられる留学でもありました。まず、私の学んでいたコースでは留学生が私ひとりであったためか、すべての授業がデンマーク語で行われた上、他のコースでも理論や学説を学ぶ座学ではデンマーク語が使用されていました。

さらに留学後半に在籍した学年では通常留学生は受け入れていないそうなのですが、デンマーク語が理解できるという理由で特別に在籍を許可していただくことができました。

デンマークの首都であるコペンハーゲンは大変国際的な都市です。ヨーロッパの諸外国との関係性でいえば、北欧諸国の玄関口であるとも言えるかもしれません。それゆえに英語話者が得られる情報量は、暮らして行くのに十分なものだと思います。しかしながら、ヨーロッパで育った人たちほどには英語が流暢でない私にとって、デンマーク語でそのまま情報が得られるということが大変役に立ちました。例えば5人の方がいて、それぞれ行きたいところが異なるような場合にデンマーク語の会話に参加できなければ、議論が一通り終わるのを待ってから誰かに結論を教えてもらおうか、英語で話してくださいとお願いすることになります。しかしデンマーク語での会話に参加できればその必要はなく、状況に応じて自分の意思を伝えられ、また何が起きているか分からず不安な時間もなくなります。

また、現地の言葉を話すことで、なぜ話せるのか？という疑問をきっかけに私自身に興味を持ってもらうこともよくありました。

そしてなにより私に向けられた言葉だけでなく、友人たちの何気ない毎日の会話を聞いていることで、彼らのことをよりよく知ることができたように思います。

また、年齢や出身の異なる学生たちと共に学ぶ環境は大変刺激的で、自分が思い描ける将来の道筋は実際の可能性のほんの一部であり、本当はもっと多様な方法や可能性があるのだと実感することができました。

留学を控えるみなさんには、留学中どうすればいいか分からずに困ってしまうことがきっと何度もあるだろうと思いますが、自分から知ろう、分かろうという気持ちで行動することで得られるものがたくさんあるはずですよ。たくさんの人たちや新しい世界との出会いを通じて、楽しく充実した留学生活を送られるように願っています。